



ユツユツ とこどん

大仙市立太田中学校
令和4年10月21日
NO. 85



うららかに たくましく ~ 耕し 萌えたち みのらせ さきみだる~



満喫? 笑顔! ○○の秋

ある記事で「○○な秋」といえばランキングの調査結果を見ました。次のようになっていました。

- | | |
|------------|----------|
| 第1位 食欲の秋 | 第2位 読書の秋 |
| 第3位 スポーツの秋 | 第4位 睡眠の秋 |
| 第5位 芸術の秋 | 第6位 行楽の秋 |

この他にも、実りの秋、紅葉の秋、おもしろいところでは、ハロウィンの秋、ダイエットの秋などもありました。すなわち、何をすることも最適の季節が秋ということでしょうか。最近は朝晩の寒さも身にしみるようになってきましたが、季節はまだ秋、楽しさを満喫したい季節の終盤です。

コロナ禍の中、たくさんの制約を強いられている子どもたちです。状況に応じて、できることとできないことを判断して、苦渋の決断をしなければならないことも多々あります。でも、子どもたちの思いは、『どうかして行事やたくさんのことを行い、中学校生活での学びや思い出を増やしたい』でしょうし、本校職員の思いは、『可能な範囲で仲間とともに何かを成し遂げる体験をさせたい』『例えそれがこれまで当たり前とってきた様にできなくても“誰とするか”を大切にしたい』です。

そんな思いと○○の秋を実現すべく、夏休み以降インターナショナルデー、大槌交流、花壇スケッチ会、3年修学旅行、1・2年体験学習、太中祭、外部の人たちをお迎えしての講演・講座・講習などを実施してきました。

そして今日10月21日(金)には、秋を満喫する学校行事、**スポーツの秋：アスリート駅伝・マラソン大会**、**食欲の秋：なべっこ**でさわやかな秋を楽しみました。「走るのはいやだよ」と口にしながらも、いざ始まると必死の表情で走る子どもたち、そ

れを精一杯応援し、慰労する同級生、みんな輝くような表情でした。もちろん担任の先生や学年の先生も声をからさんばかりの応援で、学年の団結、絆も一層強くなったものと思います。熱く燃えた“校内駅伝・マラソン大会”でした。結果は次の通りです。

【駅伝の部】

- ① 3A ② 2A ③ 1A ④ 2B ⑤ 1B

〈区間記録〉

- | | | |
|-----------|--------|---------|
| 女子 ①加藤つくし | ②煤賀 紗智 | ③加藤 瑚々 |
| 男子 ①鈴木 弘斗 | ②高橋 蒼牙 | ③大信田竜ノ介 |

【マラソンの部】

- | | | |
|-----------|--------|--------|
| 男子 ①長澤 怜桜 | ②竹村 柊 | ③高橋 裕太 |
| 女子 ①佐藤 芽依 | ②高橋 由実 | ③高橋 優奈 |

駅伝・マラソン大会の後は、学校に戻っての“なべっこ”。運動の後の食事は格別なのでしょう、午前とは一転、柔和な表情でした。グループでの役割分担もしっかりしながら、走るのは苦手だけどこっちは得意と言わんばかりに、手際よく鍋づくりをリードする生徒、食べることはおまかせとばかりに鍋をからにする生徒、後片付けまでしっかりと責任を果たす生徒など、校内の生活・学習では見せない姿を目にすることができました。一人一人のよき再発見です。上手にできた班も多数ありましたが、「えっ」という出来映えの班も…本当に楽しそうな太中生でした。

これらの行事での姿、士気には太中生の底知れぬパワーを感じました。このパワーを後期最も大切になる**勉強の秋**、そして、**読書の秋**に向けてほしいと思っていますし、そうなるよう支援していきます。様々な秋を体験・満喫してきた令和4年の秋、可能な限り実施してきた秋の体験（この後もあります）が、太中生の心力も体力も学力も高めることにつながってほしいと願っているところです。